

電気通信大学 平成17年度シラバス

授業科目名	基礎プログラミングおよび演習		
英文授業科目名	Fundamental Programming		
開講年度	2005年度	開講年次	1年次
開講学期	2学期	開講コース・課程	夜間主コース
授業の方法		単位数	2
科目区分	専門科目-専門基礎科目-		
開講学科・専攻	知能機械工学科 人間コミュニケーション学科		
担当教官名	橋本 猛		
居室	西2-821		

公開E-Mail	授業関連Webページ
hasimoto@ee.uec.ac.jp	http://borodin.ee.uec.ac.jp/~ckadai

【主題および達成目標】
技術系で一般的に使用されるC言語についてその使い方を学ぶ。 ポインタまでの基本的な使いの修得が目標。

【前もって履修しておくべき科目】
コンピュータ・リテラシー

【前もって履修しておくことが望ましい科目】

【教科書等】
「C言語によるプログラミング[基礎編]」を参考書として勧める。

【授業内容とその進め方】
<p>主な内容は以下の通り。(括弧内は予定する回数)</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. プログラムの基本概念 (1) 2. データ型, 式, 演算子 (1) 3. 制御構造, if, for, while, do-while (3) 4. 関数と変数 (2) 6. 中間テスト 7. 文字変数と文字列 (2) 8. 配列 (2)

電気通信大学 平成17年度シラバス

- 9. ポインタ (1)
- 10. 文字列とポインタ (1)
- 11. 期末テスト

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

レポート提出点+中間テスト+期末テストの総計で評価する。
授業で扱った文法の基本が全て分かっているものを満点として、
6割以上できているものを可とする。

【オフィスアワー：授業相談】

水曜日午後, もしくは土曜日二限目

【学生へのメッセージ】

PCの普及と高速化でプログラミングが非常に身近なものになっているが、プログラムは書ければ良いというものではなく、上手に書かれたプログラムはそれ自体で新しい資産となる。そのためには、C言語の機能を十分に知った上で、できるだけオーソドックスな書き方が必要になる。この授業ではC言語の使い方しか教えられないが、どうしたら良いプログラムになるか工夫をして欲しい。

【その他】